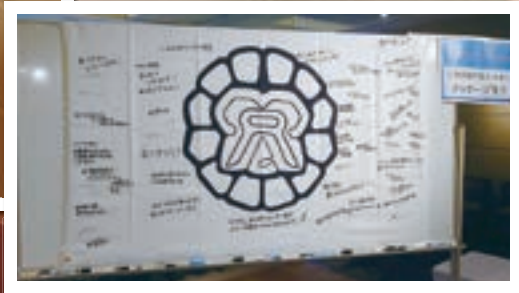


—大阪の全ての歯科医療関係者を コロナ感染から守る—



P4 参加者・関係者コメント
P3 実施レポート
P2 職域接種実施に向けた取り組み

歯科技工士会初

「新型コロナワクチン職域接種の実施」



新型コロナワクチン 職域接種実施に向けた取り組み



歯科技工士がワクチン 優先接種枠から外れた現実



2021年2月14日、新型コロナワクチンが医薬品として特例承認を受けて国内市場での使用が開始され、医療従事者は優先的に接種することになりました。医療従事者の範囲には“歯科”も含まれていましたが、

歯科技工士は医療従事者とは認められず、新型コロナワクチンの優先接種を受けることができませんでした。

もちろん、歯科医院に従事する者は優先的に受けられましたが、歯科技工士の大多数が歯科技工所に勤めている現状、職種として優先的に受けている訳ではありません。そこで、大阪府技の会員の皆さまにワクチン接種について調査をしたところ、接種済みと予約済者は1,100名中109名と判明しました。

会員の皆さまがワクチン接種を受けていただける方法として、厚生労働省が推奨する「職域接種」に着目しました。

職域接種では「接種券が届く前でも接種可能」なため、若い会員が多い当会においても、すべての会員を接種対象者とすることができます。また、「職域」の解釈を「大阪のすべての歯科医療関係者」とすることで、多岐にわたる歯科関係者を対象にでき、2,000名規模の職域

職域接種の可能性を思案



接種の実施が可能となります。職域接種の目的である「地域医療の負担軽減」と「ワクチン接種の加速化を図る」ことにも十分貢献できるのではないかと考えました。

無謀ともいえる挑戦



職域接種を実施することが最善の方法であることは明らかでしたが、実施には非常に高いハードルがありました。

緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が発令される中

で密を避けられる規模の接種会場の手配、接種会場を新たな医療機関として開設する手続き、また、接種責任医師は開業医では認められず、勤務医か大学の先生に引き受けて頂く必要があることなど課題は山積していました。そのほかにも、看護師さんの手配、接種に関する医療用品の手配、救急用品の準備、救急体制の確認などもあり、今まで経験したことのないことばかりで、無謀ともいえる挑戦となりました。

様々な課題を抱え、0から模索していくことになりましたが、会長や専務理事、事務局のたゆまぬ努力と周囲の方々のお力添えもあり、全ての準備を整え職域接種実施のエントリーをすることができました。

ここからようやく、会員の皆さまおよび関係各所への職域接種実施の告知がスタートすることになりました。

“大阪のすべての歯科医療関係者をコロナ感染症から守ります”をスローガンに掲げた新型コロナワクチン職域接種の実施ですが、接種予約の期間も短い中で果たして2,000名の予約を得られるか、とても不安でした。しかし、予約開始直後から次々と予約枠が埋まり、

“大阪のすべての歯科医療関係者を コロナ感染症から守ります” をスローガンに



予定数の2,000名に達した際には、本当にこの事業を進めて良かったと心から思いました。

この職域接種を2回とも無事に終わらせることが最大の課題ではありますが、実施に至るまでも様々な課題があり、多くの苦難を乗り越えて実施できていることを忘れてはならないと思います。

新型コロナワクチン職域接種 1 回目

令和 3 年 7 月 22 日～ 24 日、新型コロナワクチン職域接種 1 回目が実施されました。

緊急事態宣言が発令された状態での実施という事もあり、前日には会場スタッフ、担当医、看護師も参加し、受付から問診、ワクチン接種、待機場所まで、密の状態が発生しないよう様々なシミュレーションを行い、接種当日を迎えました。

時間帯によっては多少の混雑は見られましたが、各部門で受け入れ人数を調節するなどの対応や来場者の方々の協力もあり、密になるほどの事態を避けることができました。

危惧していた副反応が出た方への救急対応についても、医師、看護師の方々の的確な対応により、事なきを得ることができました。日常的に人命にかかわっている方々の判断力、行動力は本当に素晴らしく思いました。

また、それと同時に、1 ヶ月後の職域接種 2 回目では、我々のできることを一つひとつ確実にを行い、医師、看護師の方々が職務に集中できるようにする必要がありますと強く感じました。



公明党議員による視察風景



公明党議員の方々



右：山本教授

新型コロナワクチン職域接種 2 回目

令和 3 年 8 月 22 日～ 24 日、2 回目の職域接種が実施されました。

スタッフにも 1 回目を無事終えられたのだからという自負もあり、2 回目も問題なく行えるだろうという“慣れ”がありましたが、「医療の現場に“慣れ”は無い」という会長の言葉に、改めて職域接種を実施するこの場は医療機関であることを自覚させられました。

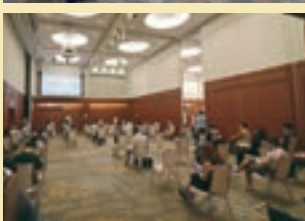
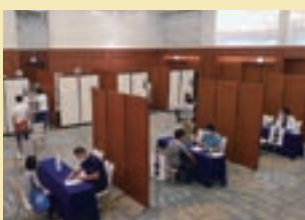
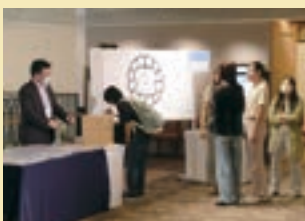
ワクチン接種については 3 日間とも順調に行われ、大きな問題もなく無事に終わることが出来ました。

会場には会旗を用意し、来場者の方々に「府技へのメッセージ」を寄せ書きして頂きました。この会旗は、この事業の証として後世に残したいと思います。

来場者の方からは「本当にありがたい」「これで少し安心できます」などのお声がけも頂き、大阪府技が会員にのみならず、その周囲の方々の役に立つ事業ができていることを実感しました。

職域接種 1 回目、2 回目の 6 日間を終え、本当に多くの方々にご協力いただき終えることができたと思えました。

皆さま、本当にありがとうございました。



熊野正士参議院議員・医師としてボランティアいただきました



清水会長 2 回目接種中

2 回目のワクチン接種を終えられた方には、大阪府技から「接種済バッチ」を配布しました。この接種済みバッチは、一般社会に向けたメッセージが含まれており、歯科医療機関に出入りするときにこのバッチを付けていただく事により歯科医師、歯科衛生士はもちろんのこと、患者さんにも安心して治療を受けていただけることを目的としています。



参加者、関係者コメント

公益社団法人 日本歯科技工士会 会長 杉岡 範明

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、大阪府歯科技工士会が全国に先駆け歯科技工士のみならず、歯科技工に係る関係者のセフティーネットとして新型コロナワクチンの職域接種を敢行したことに、心からエールを送ります。

併せて、「言うは易く行ふは難し」のことわざどおり、担当者の皆さんの努力にも称賛の拍手を送ります。

一般社団法人 日本歯科技工所協会 西支部長 庄 慶彦

この度大阪府歯科技工士会主催「新型コロナワクチン職域接種」では、当協会西支部に所属する技工所の従業員まで接種の対象にさせていただき、心より感謝申し上げます。

職域接種において、申請から手配、会場準備など大変なご苦労があったと伺いました。また、全てが未経験の事にもかかわらず、大きな問題もなく無事に職域接種を終えられたこと、とても素晴らしく感じております。これもひとえに、清水会長のリーダーシップおよび大阪府歯科技工士会の役員をはじめ関係者の方々の多大なる団結力と行動力があってのことと感服いたします。

今回、当協会西支部もこのような事業にご協力できましたことを大変誇りに思っております。同じ関西を拠点とする組織として、今後とも協力できれば嬉しく思います。この度は、本当にありがとうございました。

日本歯科学院 教員 山中 宏之

この度は大阪府歯科技工士会主催の新型コロナワクチン職域接種に参加させていただき、会長はじめ役員、関係者の皆様に大変感謝しております。

我校は新型コロナが国内で注目され始めた昨年2月から現在に至るまで毎日のコロナ対策会議を実施し、感染予防や校内感染クラスター発生をさせないための対策を推し進め現在に至っています。その中、ワクチン接種が始まったことから、学生だけでなくその家族や身近の人達を守り、安全安心で授業を進めるため、どうすれば学生達に早くワクチン接種ができるかを模索していました。そこに、大阪府歯科技工士会の清水会長からお話を頂き職員をはじめ希望する学生にワクチン接種という機会をいただきました。ワクチン不足が叫ばれ、実際に希望しても打つことができない社会状況下の中、早くも2回接種を終えることができたことを大変嬉しく感謝の気持ちで一杯です。

本当にありがとうございました。

一般社団法人 日本歯科技工所協会 理事長 南部 哲男

我々歯科技工士も医療従事者の一員として新型コロナウイルス感染防止に一日も早く行動を起こさねばならないと誰しもが思い、感じる処ではあったが、それに対しいち早く行動を起こしたのが大阪府歯科技工士会の清水潤一会長であった。清水会長は、常日頃から様々な事案で「技工士会と日本歯科技工所協会（以下歯技協）はお互いの組織の存在価値を認め合いながら協力できるところは協力して、業界の置かれているあらゆる問題の改善、改良、解決に取り組んでやっていこう」とのコンセプトを示されており、今回、我々歯技協の会員各社の社員さんたちも接種会場でのお手伝いを買って出してくれ、本当の意味で今までにない全国で初めて共同事業が実現できたのではないだろうか。

最後に、今回の活動に際し、大阪に拠点を置く多くの歯科材料メーカー様の人達から「我々にもお声かけしていただき、本当に感謝しております、有難うございます。」等々多くの声が私のもとに寄せられていることをお伝えしたい。

近畿歯科用品商協同組合 会長 武市 敏一

この度は「新型コロナワクチン職域接種」をご提案頂き誠に有難うございます。

私たち医療に携わっている者にとってワクチン接種の重要性を認識しつつも有効な手立てを打ち出すことができず困惑しておりましたところ、貴会の「自身を守ることが、地域医療に貢献できる」という考えに共感するとともに、拝受させて頂きました。

今後の状況はどう変化していくことかと心配しておりますが、今後とも協力し取り組んで参りたいと考えておりますので宜しくお願い申し上げます。

公明党 大阪府本部副代表 熊野 正士

政府がワクチン接種の加速化を図る中、全国の歯科技工士会として初めて職域接種を実施していただいた事に心から感謝申し上げます。私も視察に行かせていただきましたが、清水会長をはじめ、歯科技工士会の皆様が役員として集団接種会場の運営にご尽力くださった事にあらためて敬意を表します。

現地では職域接種に関する国の手引きについて改善が必要だとのご要望もお受けしました。現場のお声が国の対応に反映されるよう、これからも後押ししていきたいと思っております。有難うございました。

